

## 課題先進国としての日本の対応を世界が注視

### —スナイダー英エコノミスト誌東京支局長との懇談会を開催—

2022年5月12日

講師：ノア・スナイダー 英エコノミスト誌東京支局長

経済広報センターは5月12日、東京・大手町の経団連会館で英エコノミスト誌のノア・スナイダー東京支局長を招き懇談会を開催した。同会合はオンラインでも中継され、会員企業などから合わせて約70名が参加した。

スナイダー氏は、昨年末の同誌の日本特集を踏まえ、米中対立、急速な高齢化、自然災害といった内外の諸課題に直面している日本について、「衰退する国」あるいは「独特な国」ではなく、『課題先進国』としての対応に世界が注目している国」ととらえる見方を示した。そのうえで日本に対し、社会構造や経済行動の変革を進め、内外諸課題の解決に取り組むことにより、新たな国際秩序のあり方を指し示すことに期待を表明した。

スナイダー氏は2020年迄約7年にわたりモスクワ特派員を務めた経験があることから、ウクライナ紛争に関する質問も相次いだ。同氏は、今回の紛争を単純な善悪で判断すべきではないが、大国が他国の生存を脅かす帝国主義時代のようなプーチン大統領のやり方は到底容認できないとした。また、仮に中国と台湾の間で同様の動きが起きた場合の欧米諸国の反応については、当事者の対応にもよるが、世界秩序への挑戦として高い関心が払われるであろうと述べた。日本としては、紛争を踏まえた外交や防衛に関する議論を、政府の関係者やエリート層にとどめず、一般国民にも広げていくことが重要になっていると指摘した。

以 上

---

一般財団法人

## 経済広報センター

国際広報部

〒100-0004 東京都千代田区大手町1-3-2 経団連会館19階

電話：03-6741-0031

<https://www.kkc.or.jp/>

<https://en.kkc.or.jp/>

※本稿の無断転載を禁じます。